

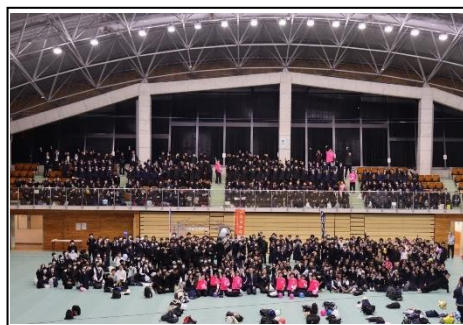
令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那市中学生キャリアフェス2022
事業主体 (連絡先)	伊那市中学生キャリアフェス実行委員会 (事務局：伊那市教育委員会事務局学校教育課)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,715,154円 (うち支援金：1,025,000円)

事業内容

伊那市キャリア教育憲章の理念、『「地域で子どもを育てよう」子どもは地域の宝・地域の未来』に基づき、市内の中学生が「地域を知り」、「地域の人とふれあい」、「地域の未来を考える」機会として伊那市中学生キャリアフェスを体験することにより、伊那市への愛着を深め、将来の伊那市を支える人材育成につなげるため、伊那市中学生キャリアフェスを開催した。

- 1 日 時 令和4年11月10日(木) 9:30~16:30
- 2 場 所 エレコム・ロジテックアリーナ(伊那市民体育館)及び武道館
- 3 対 象 者 市内全中学校2年生
(市内6中学校+伊那養護学校中等部の生徒)
- 4 参加生徒数 582人
- 5 出 展 数 78 (うち7はオンライン出展)



【当日の集合写真】

【目標・ねらい】

- ・生徒にとって：地域の産業、文化を知ることを入りに、地域の大人に出会い、触れ合い、話し、考える中で、自分の未来を考え、想像する一助とする。
- ・出展者にとって：多くの生徒、教職員に対して企業の思いや事業を伝える機会とするとともに、この地で生活する、生きる一個人としての考えや思いを子どもたちに直接伝える機会とする。

事業効果

- ・子どもたちが、伊那市への愛着を深め、将来伊那市を支える人材の育成につながった。(生徒の感想から 伊那市にこんな職場があるとは思わなかったし、知らなかった知識を知ることができた。)
- ・参加した大人たちにとっても、自らが働く企業(事業所)や伊那市に暮らすことの素晴らしさを再認識するとともに、次世代の担い手となる人材の育成に感心を持つ機会となった。(出展者の感想から 大人も刺激を受け、また地域のためにがんばろうと思える機会になった。)
- ・同じ地域に住んでいる者同士、子どもと大人の垣根を越えて関われる時間の大切さを実感した1日となった。(生徒・出展者の感想から こんなにも地域のことを思っている大人たちがたくさんいることを知ることができた。)

※自己評価【A】

【理由】

- ・参加した多くの大人と中学生が、地域のことを知り、考え、語り合い、お互いが笑顔で過ごせた1日となった。
- ・見学の間合せ等もあり、多くの方々からⅡ認知度が高まっている。

今後の取り組み

- ・将来ふるさと伊那を担い、地域を継承してくれる人材を育てるため、伊那市中学生キャリアフェスをさらに進化発展させていきたい。
- ・地域で育つ子どもたちが、たくさん大人と出会い、生き方を知り、考え、自分の未来につなげて生かしていけるような経験がたくさんできる機会を確保するため、今後も継続して実施していきたい。
- ・今後は、補助金等に頼らず実施していけるよう、出展事業者にも協力をいただきながら、さらに充実した内容としていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある